

三十四款上段

の状況調査

申告者

情報

一 死亡年月日

昭和三十一年一月一日

二 死亡時刻

午前十一時十五分

三 死亡場所

ノースウエスト病院 第一病棟 机口の向う 元・下の真中

四 病状

「ナース」及栄養不良（「ナース」は「ナース」よりきた便秘）

五 死体処理

死体は裸にして大幕の中に入れ死体は「ナース」より

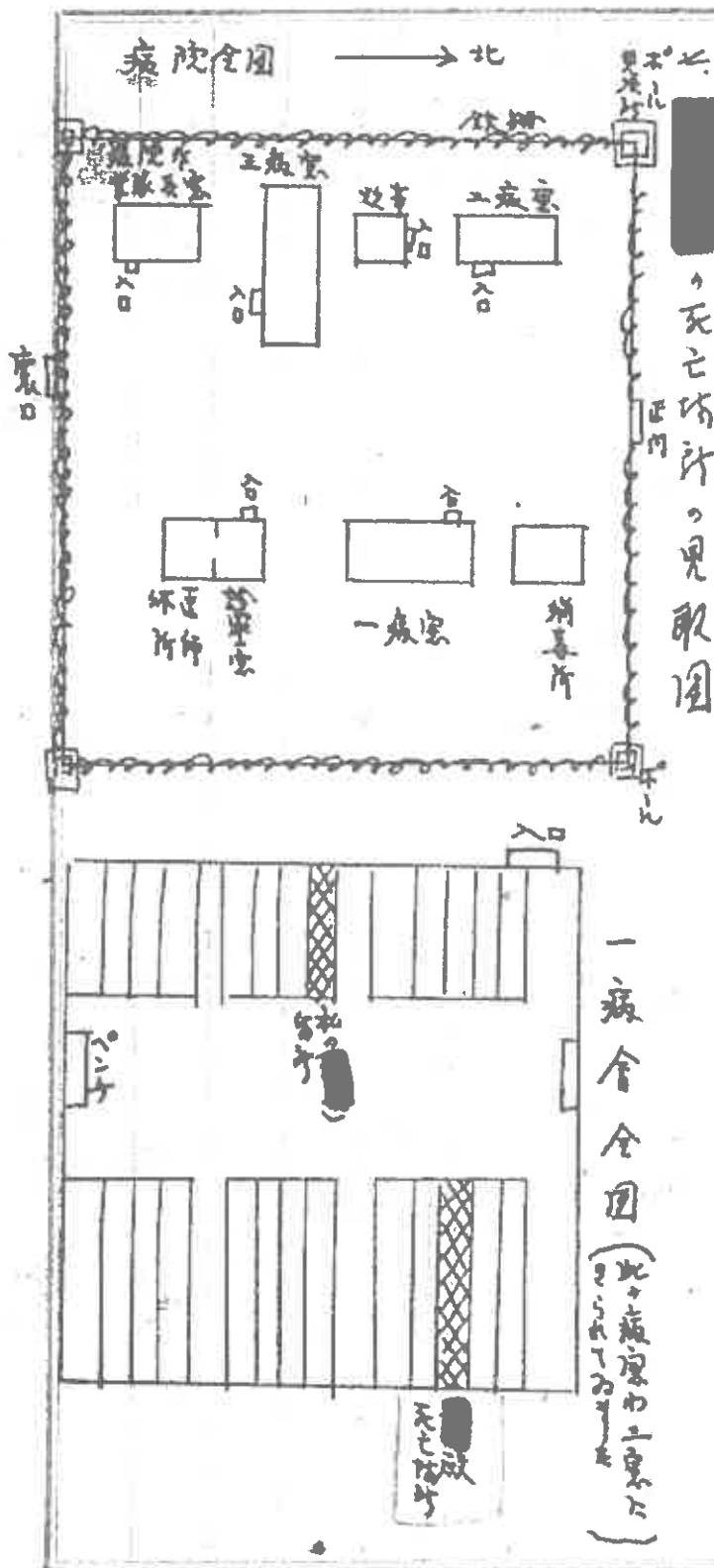
自動車で行きかへ時子行つた

六 申告者

「ナース」関係

旧軍隊当時私に自動車にあり「ナース」殿は通保にわたる関係で

「ナース」を知りあつた 通保の人物と違ひ「ナース」は「ナース」



上野 一機車が自動車に追いつきながら
 松の面影をよこ見てみれば、年工の人がおぼろけをみながら、
 私と大表より見てみれば、それから死にせられた時、わいの人に
 死なれたから、死なれた。

1653

廿

水長

癸病年月日

昭和二十一年十二月十五日

(凡邪)

死亡年月日

昭和二十一年一月二日午前四時

病名

栄養失調

24.4.19^日

(陸奥人)

合数

二二七(二六)

甲

現況不明者究明調書 (調査期日 2月27日)

調世第一二二號。

姓名索引	部	隊	等級・身分	氏名
那 譽 標 憲 丸		一 水		
出身府縣	所管施設局	方	面	入籍管轄・軍属扶養管轄
	二 根・根・見・佐 (調)	朝 鮮		
申 分 事 項	昭和二十一年一月一日個々(朝鮮國境)に搭乗 輸送中死亡(第幾次調)した			
申 告 者	家 族 番 員 者	住 所	部 隊 等 級	氏 名
調 査 官	世 話 課	詳細な経緯は別紙に記入し、申すところ、平次第後継子 が本人の従弟と生計を共にし、取柄は別紙に記す		
所 見	無 復 人			

舞鶴地方復員務處理部

年月日

舞鶴地方復員務處理部 第三復員課
9月28日 佐村

1. 本調査は甲説一、乙説三を調査する
2. 甲説……總べて調査官にて記入し(俗筆書にて可)都復員人に送付する
3. 乙説……都復員人にて甲説による三遍調査
調査員語課へ一通
所管施設局へ一通
同 位語課へ一通(復員局経由) } 送付する
4. ※欄は舞復人で記入する

62-10

連地區發留本局還者、狀、
 申告者 現住地
 昭和二十五年十月十日
 同地區事務課（役、健、昭、定、板）

人	本	籍	地	等級	氏	名	入籍番號
附屬名 三五四號 時技章				上主			
生年月日							

昭和二十五年一月十二日死亡 ニコライス病院 熱病 昭和二十五年一月十二日死亡 現認しました 南きまぜ	収容所よりニコライス病に付 収容所より炊事当番下した 朝鮮元山より、かんこうより、 収容所に大勢の収容所に付元任下した ニコライス病に付下した
---	---

備考
 収容所より炊事当番下した
 朝鮮元山より、かんこうより、
 収容所に大勢の収容所に付元任下した
 ニコライス病に付下した

25-6-24 受 No. 2
 197-23

死 致 者 調 書

本籍地

現在所

所属部隊

入回年月日

年 月 日

年 月 日

年 月 日

年 月 日

年 月 日

年 月 日

佐賀縣

同

第十一特別根據地隊

八四二〇

上 水

六八二八

兵 科

佐々保

得領印皮支那 西貢に於て銃隊員として勤務

昭和三十一年一月十四日迄 第十一特別根據地隊 隊員として勤務

詳	中	告	告	申
不明	二一、一十七	不明	不明	不明
不明	不明	不明	不明	不明

詳
 中
 告
 告
 申

申	告	告	告	申
不明	不明	不明	不明	不明
不明	不明	不明	不明	不明

申
 告
 告
 告
 申

備考

一本調書は元
 昭和五年に
 昭和五年に

7237
 28
 年
 11
 月
 1

139-10

死殲者調書

本籍地	現任所	同	右	父
所屬部隊	元山海軍航空隊	現	役	年種
入國年月日	二、二、一	徑	種	兵科
等	一	中	一	一
外	一	一	一	一
勤務概要	勤務概要	勤務概要	勤務概要	勤務概要

7265

福岡縣

元海軍一等水兵

氏

右者は昭和二十一年一月二十三日頃北朝鮮興南に於いて不幸なる
栄養失調により戦病死せり

元海軍一等整備士曹

佐世保地方復員課庶務課

水産（魚類）
ハ、取獲品ノ状況

食料（水産）
ハ、取獲品ノ状況

死亡年月日時刻及場所

二一—二一—二八（AM 9:10）死亡

右申告ス

昭和二十二年 四月二十六日

申告書			
氏名	所屬	職	年齢
七	隊	先	七
第三五四隊隊員			
機務長			
申告書			
申告書			

備考

(一) 毎年在籍スハ、所屬ノ特務士官、在任官、管工官等ノ平居ニハ、取入
 (二) 知特シアル範圍ニ於テハ、出稼得ル限リ詳細ニ記載ス
 (三) 他ハ、ヨリテ、キア、承知シタル事項ハ、各該機關ニ照会カ方ヲ記載ス
 (四) 知特シタル事項ニシテ、イテハ、記載シテクアセヨ
 (五) 送付先 年々方帳簿等ハ、取入者ノ手帳ニ記ス

長崎縣

事實證明書

第一、特別根據地隊海軍一連當

内地發着出發年月日

昭和十八年九月二十九日横濱買軍港發

二、戰地(事變地)到着年月日

昭和十八年十月二十二日バリック・バダ着

三、發病年月日

昭和二十一年二月二日

四、發病場所

ホルキオ島バリック・バダ

五、傷病名

熱帶熱マラリア、蕁麻疹

六、所見

ホルキオ島バリック・バダに於て重傷、別ナリ時新戦闘に従事

シ、戦傷、戦病、戦死、全、公務、為、發病、た、マ、ト

右證明ス

昭和二十一年二月十八日

第二、特別根據地隊司令官

海軍中將

本
籍
地

現住所

荷

同

所屬部隊

世保鎮守尉榮興特別陸戰隊

入園年月

昭和十四年
六月廿七日

紋徑

服延

等
級

上機書

年氏
名

10

內地卷五
年
月
日

和十七年
九月一日

今

世保

地到着

嘉和十七年
九月十八日

金瓶梅

57

品類

第ニハ紋藩所自勅事進轉員と云ふハロモハ辭意ハハルナクハ馬

卷之四

國司町新築より此社大正二年十月五日竣工傳聞ありて之を以て

癸卯二月

咸和十九年六月二十一日

受傷部位

萬葉集卷八調症

受僱時

熱帶之風土氣候。一作風病。蓋風者。天調之受病。

昭和二十一年八月二十六日
 死者の状況
 死者の通し承知してのりよりから申告致しよりす

申告	申告	申告	申告
入籍者	不籍地	現住所	所在地
等級	昭和二十一年八月二十六日	同	佐世保警察署長(署長)
氏名			

備考

一 本調書は死没者の身上関係一切を處理するものであるが慎重に且つ詳細に記入して下さい
 二 他人より聞か承知した事項は其の旨末尾余白に記入して下さい

死亡確認書

右為左記の通り死亡したる事と確認す

記

一 死亡年月日

昭和二十一年二月十日

一 所属部隊

陸軍第二師團

一 身、分

陸軍二等水兵

一 氏、名

一 姓、名

一 氏、名

朝鮮京城府延平府寧海縣人

香川縣

一 氏、名

香川縣人

工場

在事實中確立致しませう

昭和二十一年四月九日

朝鮮羅陣要害司令部 防衛隊

陸軍部長

本稿
現行

今茲

鏡佐所

五部像

圖

卷之四

長壽縣

勤勞の徳

孔 殽

卷之四

天

合
右

佐世保鎮守府第文特別陸隊

邊軍上第

後種

水災

佐世傳

地理

ブルバール島
アイ

佐世保市元特別陸戦隊所屬
ソウモエノ群島
ブウゲンビル島

遷佛勤務本

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

佐世保予之特別陸軍隊

2007年4月 / 日表

不
喜
迎

瓊
性
沙

風

石

行爲部係

入國府正

卷之四

上

年

1000

卷之四

E-22

年北
年五
日

新嘉坡

勸善
機中

昭和二十年十月十日

鹿白

力成

[illegible]

明倫彙編 家範典 卷一百一十五

下利重者，裏急後重，
溫氣下之，乃愈。

夜々通り歌知し々々すから申告然しす

二十一年

三

卷之六

篆
坡

恒
氏
名

管中
不吐
蛇

着
續
行

行香子

平壤師出重兵策補元降今然

備考

一本調者は死後者の真上関係一切を處理するものであるから慎重

に且つ詳細に記入して下さい

二他人から聞いたり承知した事項、其の地、参考となるべき資料等は

其力皆未竟余自に記入し之を

道徳
[redacted]
力
又
今
又
死
行
産

卷之六
 六
 七
 八
 九
 十
 十一
 十二
 十三
 十四
 十五
 十六
 十七
 十八
 十九
 二十
 二十一
 二十二
 二十三
 二十四
 二十五
 二十六
 二十七
 二十八
 二十九
 三十
 三十一
 三十二
 三十三
 三十四
 三十五
 三十六
 三十七
 三十八
 三十九
 四十
 四十一
 四十二
 四十三
 四十四
 四十五
 四十六
 四十七
 四十八
 四十九
 五十
 五十一
 五十二
 五十三
 五十四
 五十五
 五十六
 五十七
 五十八
 五十九
 六十
 六十一
 六十二
 六十三
 六十四
 六十五
 六十六
 六十七
 六十八
 六十九
 七十
 七十一
 七十二
 七十三
 七十四
 七十五
 七十六
 七十七
 七十八
 七十九
 八十
 八十一
 八十二
 八十三
 八十四
 八十五
 八十六
 八十七
 八十八
 八十九
 九十
 九十一
 九十二
 九十三
 九十四
 九十五
 九十六
 九十七
 九十八
 九十九
 一百

87-18

92-12

イ

寫

舞鶴復ニ第七號の六

昭和三年八月一日

舞鶴引揚後援局復員部第二復員課長

各地方復員殘務処理部復員業務課長殿

死没者に関する件通知(第一五號)

左記は、ナボトカより舞鶴に飯運した各頭書の若の申告によるものである

記

申告者	等級	氏名	病名	死没年月日	本籍	地	記事
元山 空	一等	[REDACTED]	病死	昭和三年八月一日	[REDACTED]	[REDACTED]	病院から来た若に於く
元山 空	二等	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]

17-11

廣 戰死番号 6940

本籍地	現住所	所属部隊	入團年月	等	内地派遣	外派	勤務概要	備考
死者調査	[Redacted]	才一ノ一 常部 西貢支隊	昭和11年 役種 應召	上等兵	昭和11年 佐世保	昭和11年 西貢	良好	昭和11年 三月二十日
			昭和11年 役種 正計					

死に
時

昭和二年

九月

十日

午後

一時

死に
時

昭和二年九月十日午後一時

昭和二年九月十日

中
八

八

八

八

八

八

告
不

不

不

不

不

不

現
在

在

在

在

在

在

海軍軍需部

海軍軍需部

海軍軍需部

海軍軍需部

海軍軍需部

海軍軍需部

備考

一 本調査は死没者の身上関係一切を處理するものであるから

慎重に且詳細に記入して下さい

一 他人から聞いたり承知した事項は其の旨を差余白に記入して下さい

一 本調査は死没者の身上関係一切を處理するものであるから

慎重に且詳細に記入して下さい

一 他人から聞いたり承知した事項は其の旨を差余白に記入して下さい

一 本調査は死没者の身上関係一切を處理するものであるから

慎重に且詳細に記入して下さい

此之場より北盤山南へ至る路に無き路あり

此の路より北盤山南へ至る路に無き路あり

此の路より北盤山南へ至る路に無き路あり

此の路より北盤山南へ至る路に無き路あり

此の路より北盤山南へ至る路に無き路あり

此の路より北盤山南へ至る路に無き路あり

此の路より北盤山南へ至る路に無き路あり

此の路より北盤山南へ至る路に無き路あり

此の路より北盤山南へ至る路に無き路あり

此の路より北盤山南へ至る路に無き路あり

此の路より北盤山南へ至る路に無き路あり

此の路より北盤山南へ至る路に無き路あり

此の路より北盤山南へ至る路に無き路あり

此の路より北盤山南へ至る路に無き路あり

此の路より北盤山南へ至る路に無き路あり

此の路より北盤山南へ至る路に無き路あり

此の路より北盤山南へ至る路に無き路あり

此の路より北盤山南へ至る路に無き路あり

死 歿 者 調 書

本 籍 地	三 重 縣 桑 名 市 柳 井 町 番 地	
現 住 所	三 重 縣 桑 名 市 柳 井 町 番 地	
所 屬 部 隊	第 二 師 團 第 二 旅 團 第 二 營 第 二 中 隊	
入 國 年 月	役 種	兵 種
官 身 級	生 年 月 日	入 籍 番 号
内地臺灣出發年月日	昭和二十一年三月十日	
戰地到着年月日	昭和二十一年三月十日	
勤 務 概 要		
発病(受傷)年月日	昭和二十一年三月十日	
病名(受傷部位)	頭に受傷致した	
発病(受傷)原因	重傷に成り、第一師團に下頭に力を入れた際に戦死した	
死亡年月日(所屬場所)	昭和二十一年三月十八日十一時半(第一)	

右中記

昭和二十一年三月五日

本 籍 地	三 重 縣 桑 名 市 柳 井 町 番 地
現 住 所	同 上
所 屬 部 隊	第 二 師 團 第 二 旅 團 第 二 營 第 二 中 隊
氏 名	三 重 縣 桑 名 市 柳 井 町 番 地

備 考

- 一 本調書、部隊員又、死歿者、後、桑名市、地方復興局、人事部、に送付、ス、責任者、に、知得、ス、ト、記、ス、ノ、ミ、に、付、記、載、ス、
- 二 吳鎮在籍、特務士官、准士官、下士官、兵、に、付、記、載、ス、
- 三 同府縣人、勿論、他府縣出身者、に、就、テ、モ、記、載、ス、
- 四 知得、ス、ル、範、圍、に、於、テ、出、来、得、ル、限、リ、詳、述、に、記、載、ス、
- 五 他人、に、聞、キ、ト、知、ル、事、項、に、各、之、に、對、シ、相、互、に、記、載、ス、

山公初死後

現証證明書

一昭和廿五年四月十八日

一戰死

一印 〇ニカニ地已

一終戦ノ大東況合ニ長標北ノ風景ニ連リ

前後ノ考工書々脱走シ越壘堂ニ入覚

四月十八日午前三時頃水ヲ〇ニカニ都置ニ於テ



海軍、越南軍との時間、激戦、於て

戦死、

右規認、

昭和廿二年十一月三日

印支海軍航空隊、
海軍航空隊、
[redacted] 佐官

4.25A

天興卷調寄

右へ通し永和二万十寸。中告致しす可

昭和一十一年九月一日

中
人
藉
安
所

卷之四

人名

告
不
得
已

著
現任所

④

端考

一 本調書は死没者の身上関係一切を處理するものであるから
旗重に且つ詳細に記入して下さい
二 他人から聞けて承知した事項は其の旨を是れ白に記入して下さい

調任此間志守アリナリ
定安事項詳細記入上ニ送下

殿閣元記調書該情補

死 殘者 調書

元在甘海海軍運輸部

(一九一四年八月正九)

昭和八年二月

收 程

軍属

昭和八年四月

佐 佐 保

十八年十月迄又見ハ陸軍
物休務院請第(軍)号更成
四月某日午後五時中退
三十年七月迄ニハハ
海軍加後

胸 隠 天

死 歿 者 証 書

本 籍 地

現 任 所

所 属 部 隊

入 隊 日

官 階

内 務 省 出 発 日

戦 死 日

西ノ六ノ九(瓦山第三五四設營隊)

昭和二年三月一日 役 檢 第二國民兵

無 罪 放 解 氏 名

生 年 月 日

昭和二年六月六日

兵 種

入 籍 番 號

勤 務 の 概 要

病 者 (定 場) 年 月 日

病 者 (定 場) 年 月 日

榮 失 係 赤 痢

昭和二年六月十日

病 者 (定 場) 年 月 日

昭和二年六月四日ヨリヨリ病者トシテ退還セシモノニテ、當時北朝鮮ガハ、極度ノ連、始興、羅林、海、八、河、赤、痢、流行、宿、舎、中、ト、主、任、以上四

右 甲 告 示

昭和二年 四月 二十 日

朝鮮咸北古茂山病院

本 籍 地

現 任 所

所 屬 部 隊

氏 名

羅南陸軍病院

官 等 級 陸軍藥劑少尉

考

(一)本調書は部隊長又は職務取扱者等異於復員局人事部長宛送
報すべき責任者は於て知得しあらずと認めらるものみに付記載す。

(二)兵種在籍の特務士官進士官下士官兵に付て記載す。

(三)同府縣人は勿論他府縣出身者に就ても記載す。

(四)在籍し方々範圍に於ても出来得る限り詳細に記載す。

(五)他人の...記載す。

終

香川縣

奉病 昭和五年六月十日
岡田葉子 宋養不良 罹り罹病

宋養夫調兼赤痢

昭和五年六月十日

香川縣立醫院 昭和五年六月十日
三人罹病 宋養不良 罹り罹病
昭和五年六月十日

整長

九。一度

昭和二十一年七月二十四日

朝鮮省長古茂山
（一）病死

古茂山収容所於丁未養食欠調兼亦痢
死亡 死骸王葬所久遺骨無一遺留品

整長氏

右同

朝鮮元山海軍航空隊

昭和二十一年七月八日

右の如く示してある資料から申す可い

昭和二十一年九月一日

佐世保地方復興委員会事務調査係御中

敬請者此間事務田舎

佐人第四二號の一四四に依る件左記の通り田舎路一歩を

記

二階級氏名

奥書長

一死亡場所

朝鮮古茂山臥客所病院

二病

腎臓病

不病時日 終戦時終上罹病

四死亡年月日

昭和二十一年六月

五也承知者線直者有無 無し

香川縣

昭和二十一年九月一日

(終)

第四次ノ連地区病院関係綜合調査究明調書

(舞復)

提供者 住持氏名

對象

舞

大村

上整

所

管

理

氏

名

氏

名

氏

名

年令名前、眞實より死亡確實
二年三月頃入院二月六月頃死亡

月

年

203-12

徳島

糸病又付受陽
上候又付受傷
糸病又付受傷

勤務の概要

本籍地
現住所
所屬部隊
入團年月日
等
内地港場勤務
平月日
小池町署

役種
職名
役職
職名
職名
職名

現役
兵種
兵科
兵科

死歿者調書
九月五日

徳島地方支隊
第一隊員名簿

徳島大調査所

亡年月日 昭和二年九月廿二日
 死に時辰 死

右の通憲和...
 昭和二年九月廿二日

中入籍番号 第...
 第...

告本籍地...

君現住所...

の所属部隊 朝鮮軍三〇部隊...

備考

一本調書...

...

...

...

338-11

軍屬戰死者之件報告
昭和二十一年四月二十四日

戰歿日時
昭和二十一年四月二十四日

戰歿場所
于予島

戰歿状況
空襲中受火傷死

遺骨遺品
有無及保管者 無之

参考事項
如之通り御証明及御報告申上候也
昭和二十一年四月二十五日

舞鶴地方復興局人事部長 殿
報告者 氏名

通称 昭和二十一年四月

別紙

元海軍上校所長

ハナズケ情報

一、奇病あり死に至り、沈黙、

昭和五年八月十四日（赤痢）確定

入院後

不明

病状

赤痢の原因は不明、重症を起し、日に十回—十五回
便下痢し、且、食ふなり、の際友人より、
食し、再度重症になり死す

26/12/10
漢文

57-15

のれど時刻

昭和五年八月五日午前二時五十分

六通定の内定らつて

別紙

（痛氣が良くなりつゝの際に腹がすく心棒が方（と）我々が
再ニ再ニ言つて、いとも死んでもかまわなうと言ふ、いた

發病(受傷)年月日 昭和二十一年七月十八日

病名(受傷部位) 胸膜炎、左胸中葉肥厚

発病(受傷)原因 昭和二十一年八月北朝鮮、古茂山收容所

昭和二十一年七月十八日

右申告ス 十五日 昭和二十一年七月十八日

市	本籍地	歸郷地	所屬部隊	氏名
		石 同	連隊第五九聯隊	
			官等級	入籍番号
			陸軍 伍長	

南米、小五、本人、北朝鮮、古茂山、新着台、組合、七、ソ、白根、陸軍、三、月、注、二、ナリ、(古茂山着、二、六、十、二)

266

266

本籍地	死没者調書			
遺族住所及統制	右同			
所屬部隊	第五海軍燃料廠			
役種	階級	氏名	兵種	入籍番号
官等級	少尉	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]
戰地到着年月日	昭和十一年三月 第五海軍燃料廠予備工勤務			
勤務概要	[Redacted]			
受湯者姓名	昭和十一年五月頃			
受湯部(所)	陽給轉			
受湯者姓名	[Redacted]			

此封狀紙

卷之九

部事

昭和二十一年八月

死仰遺棄二休違背十二

平壤第一陸軍病院

右中告又

昭和二十一年十一月五日

中平籍地

若所屬部隊

氏名

平壤海軍中隊

官等級

入籍番号

終

高

本籍地	現任所	所屬部隊	入國年月日	等	内地進出年月日	外地進出年月日	勤務概要	知照事項	病者受信部	病者受信部	病者受信部
[Redacted]	不明	不明	不明	水衣	不明	不明	不明	不明	榮養皮細	榮養皮細	榮養皮細
死後者調書	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明
兵籍	兵籍	兵籍	兵籍	兵籍	兵籍	兵籍	兵籍	兵籍	兵籍	兵籍	兵籍

61-592

福

勤務の概要

本籍地	死没者調査
現住所	
所属部隊	朝鮮元山海軍航空隊
入團年月日	昭和十九年十月
等	兵長
内地勤務状況	昭和十九年七月
外地勤務状況	昭和十九年七月
勤務概要	朝鮮元山
病名又は受傷時刻	傷重失調末期
死没時刻	

17-21

死の場所 平壤三合里收容所 隊(病院)
 死の時 昭和三十年九月十日
 死の状況 死七前に他病棟に移りし爲め十数日後病室長より同じ死亡知
 右の通り察知してゐますから申し告致しうす

昭和三十一年十二月五日

等級上等兵大石

申告人	申告人	申告人
本籍地	現住所	所属部隊
		平壤三合里收容所 隊(病院)

一 本調査は死歿者の身上関係一切を処理するものでありますから
 慎重に且つ詳細に記入して下さい
 二 他人から聞き取知した事項 其の他参考となるべき資料はその
 旨詳細に市記入下さい

本姓姓者南宮氏係多西和子一子中男外數難好奴謹

不 籍 地 死 所 地

任 所

部 元山海軍衛至隊

年 月

上 整

年 月 日

兵 一 整 屬 兵

到 前 地 知 上

年 月 日

年 月 日

年 月 日

慶 元 縣 志

卷 之 一

934 24 年 7 月 24 日

[illegible]

死生の狀

右の通り不短もてぬま子から申告せしむす

西曆一千九百零六年三月

衛生堂名氏印

本
地
道

在
所
有
國
江

卷一百一十一 雜記

五
毒

一、本邦の山死骸は、土山に一切を葬るべきものなり。其の爲に一

二 一人から聞いて熟知した事柄は、
の言葉は、西人として、

死歿者調書

本籍地

現住所

所屬部隊

少六九部隊(元山第三五四設營隊)

入隊
年月日

昭和三年一月一日

役種

二國

兵種

官等

二等技術兵

氏名

[Redacted Name]

番號

[Redacted Number]

以天老考出役

年月日

昭和三年一月一日

勤務の概要

發病(受傷)年月日

二年十月

病名(受傷の部位)

赤痢 兼 榮失

發病(受傷)の經過
昭和三年十月、赤痢に罹り、兼て榮失を來し、當時は、山崎部隊に在り、少六九部隊に轉属した。榮失は、山崎部隊に在り、少六九部隊に轉属した。榮失は、山崎部隊に在り、少六九部隊に轉属した。

昭和二十二年四月二十二日
朝鮮咸北吉良山病院

右申告す

昭和二十二年 四月二十二日

本籍地	現住所	所屬部隊羅南陸軍病院	氏名	官等級 陸軍藥劑少尉
				入籍

備考

(一) 大調書は部隊長又は残務取扱者等異地を復員為人事部長宛通
報す。責任者は於て知得しあらずと認めしものみに付記載す。
(二) 異鎮在籍、特務士官、准士官、下士官、兵に付て記載す。
(三) 同府縣人由勿論他府縣出身者に就ても記載す。
(四) 府に於て範圍に於ても出来得る限り詳細に記載す。
(五) 他人より得たるものは各該當局に相手をし記載す。

終

45349

本籍地

死没者 籍音

遺族住所及続柄

所属部隊

第五海軍燃料廠(朝鮮 郭康)

役種

二國

兵種 機銃科

官等級

一級兵

氏名

[Redacted Name]

入籍番号

[Redacted Number]

戦死到着年月日

昭和二十一年六月頃

勤務概要

受傷経過年月日

昭和二十一年二月十日

受傷部(病名)

栄養失調症

受傷経過又他

昭和二十一年八月二十日満洲延吉出發日途中奉命死した

死時、狀況
 有夢見化し十月二十四日有盛島出帆(北川丸)取中た於て死亡
 昭和二十一年十月五日。六三。 港より港へ海中に横たわ
 遺言及遺留品は安良林
 建設部し度より自由出ありたるに其本人へ引渡し済み

右中告る

昭和二十一年十一月十日

甲本籍地	岩取郡先	者所属部隊	氏名
[Redacted]	〃	朝鮮成興宣武三九二部隊	[Redacted]
		官等級 一等兵	入籍番号 [Redacted]

終

死一殘者細書

姓名	(是務部立)
發病(受傷)年月日	昭和二十五年六月十日
勤務ノ概要	第三十根據地隊(在バカラ)附金工員トシ、日夜數回 ニ從事セルモ職務ト飢餓ヲ、栄養失調ト加フ。精神 疲勞ニテ遂ニ死歿セリ
内地港灣出發年月日	昭和十九年四月二十二日
内地到着年月日	昭和十九年五月六日
官等級	新造商工長氏名[REDACTED] 生年月日[REDACTED]
入國年月	昭和十七年九月一日
所屬部隊	第三十根據地隊
現任所	[REDACTED]
役段	兵曹工作兵

口ニスル一物ヲ發シ病スル一石ノ投藥ナリ
死ニ行ハズ死ニ行ハズトイヘル狀況、斯ニ善ニ死ニ行ハズ

昭和壬午十二月二十日午時四時
内江縣遷葬
N. 六五一号内江

昭和二十一年八月十五日

三十根附屬教區收容者
按總管地方裁判所之送致之達次

備
考

(一) 本圖書ハ部隊長又ハ殘務取扱者等ニ於テ吳地方復員局人事部長宛通報シ非スト認ムルモノミニ付記載ス

(二)吳鎮在轄、特務士官、准士官、下士官、兵二付記載ス

(三)同府縣人ハ勿論他府縣出身者ニ就テモ記載ス

(四) 知得シアル範圍ニ於テ出來得ル限り詳細ニ記載ス

(五) 他人ヨリ聞キテ承知シタル事項ハ各當該機ニ相手方ヲ記載ス

內送
付
先

與

吳地方復具請入朝詔從之

死亡者調書

徳島縣世
徳島地方支庁
第二復興課
五月四日
第二復興課長 堀江 啓

本籍地

現住所

所属部隊

入團年月

等級

外地派遣年月日

外地到着年月日

勤務概要

疾病又は受傷年月日

病名又は傷名

死因又は死因

徳島縣

死亡番号

6228

69

死亡年月日 三二一 死後 葬 葬
 死亡時の状況 不詳

右の通承知してあるから申告致しす

昭和 年 月 日

申告者	入籍者	不詳	氏名
本籍地	不詳		
現住所			
所属部	不詳		

備考

一本調書は死歿者の身上関係（一）と處理するものであるから慎重に且つ詳細に記入しなくてはならない
 二他人から聞きて承知した事項は其の最末尾余白に記入しなくてはならない



舞鶴復ニ第七號の

昭和二十三年四月十五日

舞鶴引揚援護局復員部第二復員課長

各地方復興業務処理部復員業務課長殿

死没者に関する件通知(第 号)

左記はナホトカより舞鶴に飯返した各頭書の者の申告によるものである

記

先

申告者 の所轄	申告者 の階級	名	飯	郷	先
死没者 の所轄	死没者 の階級	名	死没者 の階級	死没者 の所轄	死没者 の階級
死没者 の所轄	死没者 の階級	名	死没者 の階級	死没者 の所轄	死没者 の階級
死没者 の所轄	死没者 の階級	名	死没者 の階級	死没者 の所轄	死没者 の階級
死没者 の所轄	死没者 の階級	名	死没者 の階級	死没者 の所轄	死没者 の階級
死没者 の所轄	死没者 の階級	名	死没者 の階級	死没者 の所轄	死没者 の階級
死没者 の所轄	死没者 の階級	名	死没者 の階級	死没者 の所轄	死没者 の階級
死没者 の所轄	死没者 の階級	名	死没者 の階級	死没者 の所轄	死没者 の階級
死没者 の所轄	死没者 の階級	名	死没者 の階級	死没者 の所轄	死没者 の階級
死没者 の所轄	死没者 の階級	名	死没者 の階級	死没者 の所轄	死没者 の階級

邦·康·陸

6860

死歿者調書

月 日 德島縣世田谷郡經田

本籍地

現任所

所屬部隊

等

死歿年月日

入國令行書年月

死歿地

死歿原因

德島縣概要

死歿年月日

死歿原因

死歿地

死歿原因

右

新島 中津 中津 中津

中津

中津

中津

中津

中津

昭和 年 月 日

昭和 年 月 日

昭和 年 月 日

昭和 年 月 日

昭和 年 月 日

五十七年三月	同	新加坡	三	五	七	九	十一	十三	十五	十七	十九	二十一	二十三	二十五	二十七	二十九	三十一	三十三	三十五	三十七	三十九	四十一	四十三	四十五	四十七	四十九	五十一	五十三	五十五	五十七	五十九	六十一	六十三	六十五	六十七	六十九	七十一	七十三	七十五	七十七	七十九	八十一	八十三	八十五	八十七	八十九	九十一	九十三	九十五	九十七	九十九	一百
--------	---	-----	---	---	---	---	----	----	----	----	----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	----

死に時を計る

花より通存知しての生すの甲告致し生す

卷之四

平糶地

現任所
右圖

所屬部
燭身
二刀古三新不

備序 此書乃耳之什 不遠遠定 居史 上 於手 被服 上下 日 暇 樂 幸 甚 幸 甚

神話書に死後有る身は一極之處に在りて石の如きものなり陳重興が神話に入らず

神燈



死歿者調書

[illegible]

昭和七年 月 日	死亡時の状況	昭 和 年 月 日	申告籍番号	申告籍地	者現住所	の所属部隊	備考
			一等級				一、本調査は死没者の身上関係一切を處理するものであるから慎重に且詳細に記入して下さい 二、他人から聞いたり承知した事項は其の旨末尾餘白に記入して下さい

本籍	氏名	出生年月日	籍地

(戸籍法第十四條之三ニ依リ戸籍謄本ヲ代用ス)

87.12

87.12

56236

死亡者		生死不明者		留置者	
姓名	氏名	姓名	氏名	姓名	氏名
三	永矢	三	永矢	三	永矢
長	長	長	長	長	長
死	死	死	死	死	死
(一)	(一)	(一)	(一)	(一)	(一)
(二)	(二)	(二)	(二)	(二)	(二)
(三)	(三)	(三)	(三)	(三)	(三)
(四)	(四)	(四)	(四)	(四)	(四)
(五)	(五)	(五)	(五)	(五)	(五)
(六)	(六)	(六)	(六)	(六)	(六)
(七)	(七)	(七)	(七)	(七)	(七)
(八)	(八)	(八)	(八)	(八)	(八)
(九)	(九)	(九)	(九)	(九)	(九)
(十)	(十)	(十)	(十)	(十)	(十)

我死と認めらる。
五月九日夜に中隊先導
偵察隊の正め(和達)陣地
に到着し、敵の陣地を
発見し、激戦を繰り
返す。敵は、我々の
陣地に侵入し、我々
の陣地を占領する。
我々は、敵の侵入を
阻止すべく、激戦を
繰り返す。敵は、我
々の陣地を占領する。
我々は、敵の侵入を
阻止すべく、激戦を
繰り返す。敵は、我
々の陣地を占領する。

- (一) 三永矢 死亡
- (二) 三永矢 死亡
- (三) 三永矢 死亡
- (四) 三永矢 死亡
- (五) 三永矢 死亡
- (六) 三永矢 死亡
- (七) 三永矢 死亡
- (八) 三永矢 死亡
- (九) 三永矢 死亡
- (十) 三永矢 死亡

吳地方校員六務處理部B

[illegible]

吳

[illegible]

九十二
三

94

6868

6869